

株式会社インタラクティブィ 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 令和7年6月3日（火） 12時00分～14時00分

2. 開催場所： JCOM株式会社 Room1（丸の内トラストタワーN館3階）

3. 委員の出席：

委員総数： 7名

出席委員数： 7名

出席委員の氏名：

（敬称略、五十音順）

植田 益朗、音 好宏、片山 哲郎、砂川 浩慶、村上 憲一、中川 幸美、吉岡 忍

放送事業者側出席者：

株式会社インタラクティブィ

代表取締役社長

笹島 一樹

チャンネル銀河株式会社＜チャンネル銀河＞

代表取締役社長

前田 鎮男

編成企画部 部長

岩切 裕美子

編成企画部

池田 瞳

ジュピターゴルフネットワーク株式会社＜ゴルフネットワーク＞

代表取締役社長

木村 秀行

編成制作部 部長

小川 雅之

編成制作部 アシスタントマネージャー

宮尾 恭子

編成制作部 アシスタントマネージャー

細野 ハヅ季

事務局：

JCOM株式会社

メディア事業推進部 鳥居 修平、斎藤 弘之、廣田 結子、水野 唯音

4. 議題

株式会社インタラクティブィで放送する 6 チャンネルの内、「チャンネル銀河」、「ゴルフネットワーク」の番組内容、編成内容について。

5. 審議内容

- ① 「チャンネル銀河」の編成およびオリジナル番組『うたごはん 伊勢佐木町ブルース』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・音楽や料理への敬意を持って制作されていることが伝わった
- ・食や歌謡曲をテーマにした番組は昨今溢れており、ありきたり感は否めなかった
- ・「うたごはん」という番組タイトルからは全く想像していなかったオシャレさや、深夜のフィラー番組のような漠然とした涙を誘う部分があり、何度見返しても味のある良い番組である
- ・番組の持つ曖昧さが映像やテンポとマッチしており、詳しく説明をしないことで番組全体の雰囲気を作りながらも、ホームページでは詳細なレシピを紹介しているところが良い
- ・番組に登場する料理は真似しやすく、男の料理のような親近感があり、チャンネル銀河の視聴者層である中高年男性に響いているのではないか
- ・食べ物が美味しそうに撮れているので食べたくなる一方で、サンマーメンとカクテルの組み合わせがミスマッチな印象を受けた
- ・料理をする手元にフォーカスするなど、登場人物の顔を見せないという演出が効いており、全 10 話を通して主人公の丁寧な暮らしを追っていくドラマ性・ミステリアス性のある構成が良い
- ・料理屋の女主人「詩子」の姿がなかなか明らかにならないことへのフラストレーションを感じた
- ・久々に聞く昭和歌謡は世代的にもど真ん中で親近感がありながらも、「伊勢佐木町ブルース」や「ブルー・ライト・ヨコハマ」への新しい知識や発見がテロップを通して得られた
- ・他の回も「伊勢佐木町ブルース」のような完成度なのか気になり、観てみたいと感じた
- ・10 話続けての編成や、展開の仕方次第では物流やイベントなどの可能性を秘めていると感じた

〈事業者からの回答〉

演歌・歌謡曲を中心とした音楽情報サイト「うたびと」を長く運営する中で、チャンネルでも人気のある食のコンテンツと掛け合わせることができないか、という発想から演歌・昭和歌謡×食をテーマとした「うたごはん」の企画が立ち上がった。ディレクター、カメラマンを女性が担当しており、野菜を切る音やレコードから流れる音を現場で撮影するなど、細部までこだわった部分が視聴者の皆様に伝わったのではないかと感じている。番組販売については現在進行中である。昨今の SNS の投稿に音楽をつける文化により、日本の昭和歌謡が東南アジアをはじめとした海外でも人気となっているため、海外販売も視野に入れている。

② 「ゴルフネットワーク」の編成番組『エージシュートなお年頃』について、各委員より以下のよう
な意見・質問がなされた。

- ・ゴルフ業界に携わる者の意見としては、可もなく不可もなくという印象を受けたが、大会の前段となる番組と知り納得した
- ・シニア層が 25%と言われるゴルフの世界で 90 代の方が活躍していることに励まされる
- ・エージシュートを達成するには「時間とお金と健康」が必要だと感じた
- ・適切・適格な情報量で、聞き手のアナウンサーもゴルフを熟知しており、非常に見やすい番組
- ・番組の中で登場した「一病息災」という言葉に感銘を受けるなど、ゴルフ以外にも様々ことに気づかせてくれる番組だった
- ・もっと健康・長寿の面を掘り下げて、食生活や運転事情などの日常、家族のインタビューなどで元気な高齢者のリアルな生活を見せると、「いかに元気なまま老いていくか」という観点で一般視聴者も楽しめるのではないか
- ・エージシューターを探すのが大変そうだが、ゴルフ好きにとってのエージシュートを番組制作や大会を通して伝えることで、ゲートボールのようなひとつの分野として育ててほしい
- ・カメラの台数を増やし、引きの画とプラスでダイナミックなカメラワークがあると面白いシーンが撮れると感じたため、企画段階から検討してほしい
- ・大会を撮影する際も高齢者ならではの様子が見られる場面があると良い

〈事業者からの回答〉

2025 年 6 月 23 日（月）に東京よみうりカントリークラブで開催する「ゴルフネットワーク エージシュートチャレンジカップ 2025」の前段として番組を制作した。1,500 回以上エージシュートを達成している出演者をメインに据え、エージシュートの魅力を伝えることで大会への参加を促している。約 200 名からの応募があり、そのうち 140 名が実際に大会に参加する予定となっている。大会を収録した模様も後日番組化を予定している。エージシューターは 100 名ほど存在しており、今後全国のエージシューターを紹介する番組を続編として制作していく可能性もある。

以上